



年頭の挨拶

知名町議会議長 田中 富行

町民の皆様、新年明けまして おめでとうございます。

輝かしい新春を御家族お揃いでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は奄美群島日本復帰60周年を迎えた記念すべき年でありました。先人たちが取り組んだ復帰運動を振り返り、運動を通じて群島民が一致結束して熱く燃え上がった行動力に学び・感謝し、風化させることなく後世に伝えるとともに、先人たちの熱い思いを今後の町の振興策に活かしていかなければならないと、改めて固く決意をした年でありました。

一方、国内外に目を向けると温暖化による天候不順からの大規模な自然災害やTPPへの参加問題への不透明感、消費税問題、アベノミクスによる地方への景気回復の鈍化等々、景気回復の兆しは依然として見られない状況にあり、本町においても基幹産業である農業・畜産の振興発展をはじめ、商業や水産、観光の景気回復、さらには高齢者対策や教育環境、若者定住や子育て支援対策など課題は山積しており、早急な対策が急務であります。

このような状況下にあって、産業の一部において明るい兆しが見え初めてまいりました。ひとつ目は長年の歴史を誇る「えらぶゆり」が「かごしまブランド産地指定」を受けたという喜びであります。ブランド化によりゆりの産地として「えらぶゆり」の知名度が高まり産地としての再興に期待が寄せられています。ふたつ目の喜びは奄美群島振興発展の起爆剤として、以前から町民の皆様から要望の声が強く、郡内市町村と市町村議会が一体となって国や県に陳情・要望活動を行ってきた、25年度末で期限切れとなる奄振法は改正・延長となり、最大の目玉であった「奄美群島振興開発に係る交付金制度」の創設と所要額の確保が確実となったことでもあります。この交付金の活用で農林水産物の輸送コスト低減および航路・航空路運賃低減を図ることで奄美が抱える条件不利性が改善され、地場産品の販路拡大や交流人口拡大につながり、結果として活発な経済活動向上に波及することによって奄美群島振興の飛躍が期待されています。この新しい交付金制度や本町が進める諸施策事業について最大限活用出来るよう、町民の皆様と共に直視していきたいと思えます。

私たち議会は、「今日、地域社会が激動する経済社会情勢の中で、日々進展し変革している」ことを的確に捉え、5期目をスタートさせた平安町政と十分な意思疎通を図りながら、その職責を果たして参りたいと存じます。議会の役割は重大であり、

「町民の皆様への負託に応え民主政治を支える重要な機関であることを認識」し、皆様の声を汲み取りながら議論を重ねて調査研究を進め、皆様の福祉向上と地域社会の活力のある発展を目指して、その実現に積極的に努力いたす所存でありますので、皆様には種々ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年が町民の皆様にとりまして、幸せ多い年でありますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成26年1月元旦